

わかりやすい 祇園祭2017



宵山 7/16、山鉾巡行 7/17



宵山 7/23、山鉾巡行 7/24

- 祇園祭カレンダー
- 前祭／後祭 山鉾の紹介
- 祇園祭だけ楽しめるお菓子 など

情報
満載

前祭

山鉾位置・巡行ルートマップ



前祭(さきまつり)

平成26年より後祭が復活。昭和40年までは、現在のように前祭と後祭に分かれ、2度巡行が行われていたが、昭和41年以降は前祭として17日に行われるようになった。前祭には23の山鉾が巡行。

後祭(あとまつり)

祇園祭を元の形に戻そうという動きの下、平成26年より後祭が復活。後祭には10の山鉾が巡行。

鉾改め

奉行(京都市長)が鉾取り式で決まった順番どおりに巡行が行われているかを確認する儀式。

注連縄切り

先頭の長刀鉾の稚児が四条麩屋町に張られている注連縄を太刀で切り落とす儀式。これにより神域の結界が切れ、山鉾が神の領域に進むことができる。

辻回し

木製の車輪をつけた鉾に操舵性はなく、直進しかできない。そのため鉾が交差点に差しかかると、前輪の下に青竹を敷き、滑りやすくするためにたっぷりの水をまき、「ソーレ」「エンヤラ」の掛け声とともに、曳き手が力を込めて引き直し、鉾を方向転換させる。

歩行者天国の区間

7/15、7/16の18:00～23:00頃まで

混雑緩和のため、室町・新町などの各通りが警察の交通規制によって「一方通行」となる場合があります(昨年度データ参考)

※巡行時刻は予定であり、若干ずれる場合もあります。

後祭

山鉾位置・巡行ルートマップ

後祭は歩行者天国にはなりません。また、露店の出店予定もありません。



祇園祭カレンダー

今年も祇園祭の季節が到来！1ヶ月にわたり様々な神事・祭事が行われます。

スケジュールは昨年の情報をもとに作成しており、変更になる場合もあります。あしからずご了承ください。



7月1日～

各山鉾町にて

きつぷいり 吉符入

祇園祭の幕開け。各山鉾町にて、町内関係者が祭の打ち合わせをし、祭の無事を祈願する。吉符入の日は山鉾町によって異なる。(一般には非公開)



7月2日

10:00～12:00 京都市役所にて

くじとしき 籤取り式

京都市役所で各山鉾町の代表者らがくじを引き、「山鉾巡行」当日の順番を決める。(一般観覧は事前抽選)



7月10日

16:30～21:00頃

むかちょうちん お迎え提灯

ルート及び詳細はP.3の(A)を参照。

7月10日

18:30～20:30頃

みこしあら 神輿洗い

ルート及び詳細はP.3の(A)を参照。

7月10日～14日

各山鉾町にて

ほこた 鉾建て・

詳細はP.4、P.5の「山鉾の紹介」を参照。

7月12日・13日

各山鉾町にて

ひそ 曳き初め・

詳細はP.4、P.5の「山鉾の紹介」を参照。

7月13日

11:00～ 八坂神社にて

ながなたほちごしゃさん 長刀鉾 稚児社参

この儀式を境として生稚児(いきちご)は神の使いとなり、正五位少将十萬石の位を授かる。儀式後は地面を踏むことが許されないため、強力(ごうりき)の肩に担がれて移動する。



7月15日・16日

各山鉾町にて

よいよいやま よいやま 宵々山・宵山

18:00～23:00頃 歩行者天国。
※室町通と新町通などで「一方通行」の規制有り。
詳細はP.4、P.5の「山鉾の紹介」を参照。



7月16日

18:30～21:30頃 八坂神社にて

いわみかぐら 石見神楽

国の無形文化財に指定される伝統芸能で、島根県の社中によって奉納。見どころは、一番最後に演じられる演目「大蛇(おろち)」。迫力ある立ち回りや鮮やかな衣装で、観客を魅了する。



7月16日

22:00～23:30頃

ひよりかぐら 日和神楽

翌日に迫った巡行が晴天に恵まれることを願い、囃子方が演奏しながら各山鉾町と四条御旅所を往復する。長刀鉾のみ八坂神社まで行き、祇園囃子を奉納。情緒たっぷりの人気行事。



7月17日

9:00～14:00頃

やまほこじゅんこう 前祭 山鉾巡行

表紙「山鉾位置・巡行ルートマップ」を参照。
長刀鉾を先頭に全23基の山鉾が巡行する祇園祭<前祭>のハイライト。曳き手の勇姿や山鉾の豪華な装飾品に目を奪われる。辻回しや籤改めなどの見どころもお見逃しなく。



7月17日

17:00～22:00頃

しんこうさい 神幸祭

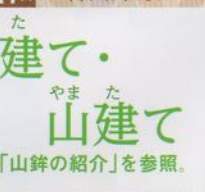
ルート及び詳細はP.3の(B)を参照。

7月18日～21日

各山鉾町にて

ほこた 鉾建て・

詳細はP.6の「山鉾の紹介」を参照。



7月20日・21日

各山鉾町にて

ひそ 曳き初め・

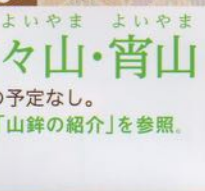
詳細はP.6の「山鉾の紹介」を参照。

7月22日・23日

各山鉾町にて

よいよいやま よいやま 宵々山・宵山

歩行者天国の予定なし。
詳細はP.6の「山鉾の紹介」を参照。



7月23日

23:00～23:40頃

かんのん あばれ観音

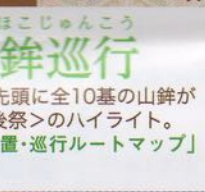
南観音山の町内で行われる南観音山だけの特別な神事。ご本尊を担ぎ、町内を荒々しく駆け巡る姿は見もの。

7月24日

9:00～14:00頃

やまほこじゅんこう 後祭 山鉾巡行

橋弁慶山を先頭に全10基の山鉾が巡行する<後祭>のハイライト。
表紙「山鉾位置・巡行ルートマップ」を参照。



7月24日

10:00～12:00頃

はながさじゅんこう 花傘巡行

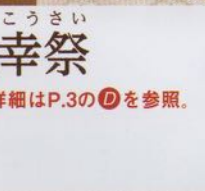
ルート及び詳細はP.3の(C)を参照。

7月24日

17:00～23:30頃

かんこうさい 還幸祭

ルート及び詳細はP.3の(D)を参照。



7月25日

11:00～15:00頃

きょうげんほうのう 狂言奉納

茂山忠三郎社中の人々により、八坂神社の能舞台で奉納される。

祇園祭の行事
前祭の関連行事
後祭の関連行事

7月28日

18:30～20:30頃

みこしあら 神輿洗い

ルート及び詳細はP.3の(A)を参照。



7月31日

10:00

えきじんじゃなごしさい 疫神社夏越祭

八坂神社の鳥居に付けられた大きな茅の輪をくぐり、厄気をはらう神事。これをもって、1ヶ月にわたる祇園祭は終わる。

A

神輿洗い、お迎え提灯

7月10日

「神輿洗い」とは、神幸祭・還幸祭で巡行する神輿を、事前に鴨川の水で洗い清める神事。蔵出しされた神輿は、松明に先導され四条大橋へ向かう。

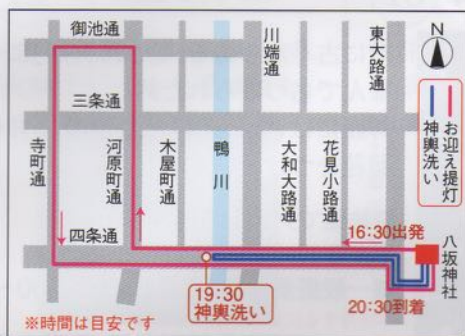
威勢良く差し回しが行われると、神職によってお清めの儀がとり行われる。

「お迎え提灯」は、神輿洗いを終えた神輿を出迎えるための行事。

市内を練り歩いて京都市役所で舞踊を奉納した後、八坂神社の石段前に勢ぞろいして神輿を出迎える。

その後、本殿前に移動し再び舞踊を奉納。

※神輿洗いは28日も同様に行われ、巡行を終えた神輿が洗い清められる。



B

神幸祭

7月17日

八坂神社の3柱の神様が、御旅所(おたびしょ)へ渡御する神事。

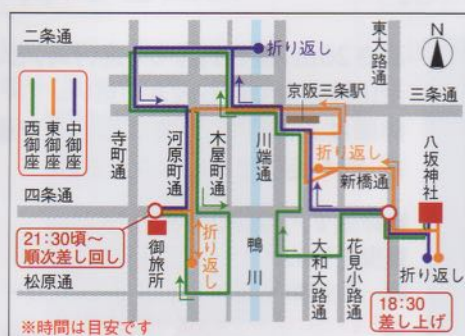
◆「三若」が担ぐのが、素盞鳴尊(すさのおのみこと)をいただく中御座神輿(なかごさみこし)

◆「四若」が担ぐのが、櫛稲田姫命(くしなだひめのみこと)をいただく東御座神輿(ひがしごさみこし)

◆「錦」が担ぐのが、八柱御子神(やはしらのみこがみ)をいただく西御座神輿(にしごさみこし) 出発時には八坂神社の石段下にて神輿の差し上げ・差し回しが行われ、その光景は圧巻。

神輿はそれぞれ異なるルートで巡行して御旅所へ。

到着後は24日の還幸祭まで御旅所に鎮座する。



C

花傘巡行

7月24日

1966年以前は、前祭と後祭にそれぞれ行われていた山鉦巡行が17日の一度に統一されたとき、後祭の巡行の代替として行われるようになった行事。午前10時、八坂神社から傘鉦10基が出発し、所定のコースを巡行。

子供神輿を先頭に、花傘を被った女性による神饌(しんせん)行列や武者行列、祇園囃子、祇園太鼓、鷺踊など総勢1,000名にも及ぶ大行列は華やかで、観覧客の目を楽しませてくれる。

巡行後は八坂神社の舞殿にて、鷺踊、獅子舞、六斎念仏、祇園囃子、芸妓・舞妓による舞踊などの芸能が奉納される。



D

還幸祭

7月24日

八坂神社の3柱の神様が、御旅所から八坂神社へとおかえりになる神事。

午後5時頃、御旅所を出発した3基の神輿は、それぞれ異なるルートを通って午後9時から10時頃、八坂神社へ。

八坂神社に還幸した神輿は、舞殿の周囲を3周し、勇壮な差し上げを披露。

24時頃からは神様を本殿へとおかえしする「御神霊遷(みたまうつし)の儀式」に移る。

境内の明かりはすべて消され、和琴と警蹕(けいひつ)の声だけが響く中、祇園祭のもっとも神聖な儀式が粛々と行われる。



山鉾の紹介

9基の鉾と14基の山

前祭
さきまつり

スケジュールは昨年データを参考に作成しており、各山鉾の都合や天候により変更される場合があります。
また、山鉾の掲載順は巡行の順序ではありません。

1

なぎなたほこ
長刀鉾

くじ取らず



唯一生稚児(いきちご)を乗せ、2人の禿(かむろ)を従える。古来より「くじ取らず」で巡行の先頭を行く鉾。鉾頭は疫病邪悪を祓う大長刀。

- 鉾建て／7月10日 7:00～
- 曳き初め／7月12日 15:30～
- 一般搭乗拝観／7月13日 13:00～
- *搭乗するには、粽や授与品の購入が必要
- *女性は会所2階まで、鉾内部への搭乗は不可
- ご利益／厄除け、疫病除け

授与品 粽・手拭・長刀(玩具)・竹絵

2

つきほこ
月鉾



高さ26m、重さ12トン(巡行時)と、全山鉾の中で最も大きく重い。鉾頭は三日月で、装飾は細部まで豪華。動く美術館とも称される。

- 鉾建て／7月10日 8:00～
- 曳き初め／7月12日 15:00～
- 一般搭乗拝観／7月14日 10:00～
- *搭乗するには、粽や授与品の購入が必要
- ご利益／厄除け、疫病除け

授与品 粽・手拭・ミニ鉾・お願袋・うちわ

3

きくすいほこ
菊水鉾



町に古くからある「菊水の井戸」にちなんで名づけられた鉾。鉾頭には、天に向けた金色の16弁の菊花をつけている。

- 鉾建て／7月10日 9:00～
- 曳き初め／7月12日 15:00～
- 一般搭乗拝観／7月13日 14:00～
- *搭乗するには粽の購入が必要
- ご利益／厄除け、不老長寿、商売繁盛

授与品 粽・手拭・扇子・ミニ鉾・ミニ粽

4

ふねほこ
船鉾

くじ取らず



神功皇后が懐妊中に外征した話に由来し、出陣する船を模った鉾。巡行時、前祭のしがり(最後尾)でもある。

- 鉾建て／7月11日 8:00～
- 曳き初め／7月13日 15:00～
- 一般搭乗拝観／7月14日 12:00～
- *搭乗するには拝観券(700円)の購入が必要
- ご利益／厄除け、疫病除け、安産

授与品 粽・安産腹帯・お守り・絵はがき

5

かんこほこ
函谷鉾

くじ取らず



孟嘗君(もうしょうくん)が鶏の声によって函谷関(かんこくかん)を脱出できたという故事にちなんだ名。鉾頭には上向きの月をあしらう。

- 鉾建て／7月10日 7:00～
- 曳き初め／7月12日 14:00～
- 一般搭乗拝観／7月13日 10:00～
- *搭乗するには拝観券(1,000円)の購入が必要
- ご利益／厄除け、疫病除け

授与品 粽・手拭・扇子・お囃子CD

6

にわとりほこ
鶏鉾



鉾頭は諫鼓(かんこ)と鶏の卵を意味するといわれている。見送は16世紀頃のベルギー製で、国の重要文化財に指定されている。

- 鉾建て／7月10日 8:00～
- 曳き初め／7月12日 14:30～
- 一般搭乗拝観／7月13日 10:00～
- *搭乗するには粽や授与品または拝観券(500円)の購入が必要
- ご利益／厄除け、疫病除け

授与品 粽・手拭・扇子・絵はがき

7

ほうかほこ
放下鉾

くじ取らず



放下僧をご神体とする鉾。稚児人形「三光丸」を操り、優雅な舞を見せる。鉾頭は日・月・星の三光を象徴する洲浜(すはま)と光苔を表す2本の棒。

- 鉾建て／7月11日 6:30～
- 曳き初め／7月13日 15:00～
- 一般搭乗拝観／7月14日 13:00～
- *女性の搭乗は不可
- ご利益／厄除け、疫病除け

授与品 粽・手拭・扇子・竹ストラップ

あやがさほこ
8 綾傘鉾

「稚児巡行」と「棒振り踊り」古式を伝承する風流傘。

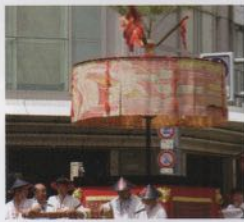


■鉾建て／7月13日 10:00～
■ご利益／厄除け、縁結び

授与品 粽・扇子・お囃子 CD
厄よけ・縁結びお守り

しじょうかさほこ
9 四条傘鉾

地元の子供たちによる「棒振り踊り」と一緒に巡行する。



■鉾建て／7月14日 7:00～
■ご利益／厄除け、縁結び

授与品 粽・縁結びわらじかざり
手拭・扇子

あしかりやま
10 芦刈山

平安時代の大和物語に書かれている「芦刈」を再現した山。

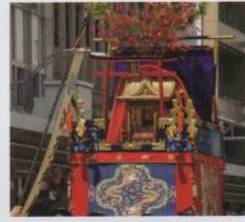


■山建て／7月13日 8:00～
■ご利益／厄除け、夫婦和合

授与品 粽・手拭・あしのおはし
Tシャツ

あぶらてんじんやま
11 油天神山

社殿の中に学問の神様・菅原道真を祀る山。



■山建て／7月13日 8:00～
■ご利益／厄除け、学問成就

授与品 粽・学問成就のお守り
絵馬・扇子

あらてんじんやま
12 霰天神山

一度も火難に遭っておらず、「火除け天神」とも呼ばれる。



■山建て／7月13日 8:00～
■ご利益／厄除け、火除け、雷除け

授与品 粽・手拭・火逆要慎お札
火防せ、雷除けのお守り

いわとやま
13 岩戸山 くじ取らず

伊弉諾命・天照大神・手力男命像をご神体とする山。



■山建て／7月11日 8:00～
■曳き初め／7月13日 15:00～
■一般搭乗拝観／7月14日 9:00～
※搭乗するには粽、授与品または拝観券(300円)の購入が必要
■ご利益／厄除け、疾病除け

授与品 粽・ミニ粽・手拭・扇子
千社札・岩戸せんべい

うらでやま
14 占出山

神功皇后を祀る安産の山。唯一、黒松を立てている。



■山建て／7月13日 8:00～
■ご利益／厄除け、安産

授与品 粽・腹帯・安産のお守り
粽土鈴・扇子・手拭

かつきよやま
15 郭巨山

中国の説話に残る郭巨とその子供をご神体とする山。



■山建て／7月13日 9:00～
■ご利益／厄除け、母乳の出を守る

授与品 粽・手拭・母乳のお守り
あぶらとり紙

たいしやま
16 太子山

聖徳太子が杉の巨木で六角堂を作った故事にちなむ山。



■山建て／7月13日 9:00～
■ご利益／厄除け、知恵授与

授与品 粽・絵馬・知恵のお守り
(杉のお守り付き)・扇子

とうろうやま
17 螳螂山

からくり仕掛けの「大かまきり」が迫力満点。



■山建て／7月13日 8:00～
■昇き初め／7月13日/12:00～

授与品 粽・手拭・扇子・Tシャツ
レターセット・コースター

とくさやま
18 木賊山

世阿弥作の能の謡曲「木賊」にちなむ。



■山建て／7月13日 8:00～
■ご利益／厄除け、迷子除け、再会

授与品 粽・手拭・迷子除けお守り

はくがやま
19 伯牙山

琴の名人であった伯牙が琴を割る場面を再現。



■山建て／7月13日 8:00～
■ご利益／厄除け、芸芸向上

授与品 粽・手拭・Tシャツ
御神木のお守り(芸芸向上)

はくらくてんやま
20 白楽天山

中国の詩人、白楽天の話に由来する山。



■山建て／7月13日 9:00～
■ご利益／学問成就、招福除災

授与品 粽・手拭・扇子・絵はがき
絵馬・合格祈願お守り

ほうしょうやま
21 保昌山

丹後守平井保昌と和泉式部の恋物語を題材とする山。



■山建て／7月12日 9:00～
■ご利益／厄除け、縁結び

授与品 粽・手拭・うちわ・絵馬
お守り結びミニ

もうそうやま
22 孟宗山

筍にまつわる説話を題材とし、別名は筍山。



■山建て／7月14日 8:00～
■ご利益／厄除け、親孝行

授与品 粽・手拭・扇子・絵はがき

やまぶしやま
23 山伏山

多くの伝説を残した浄蔵を山伏姿でご神体とする山。



■山建て／7月12日 9:00～
■ご利益／火除け、雷除け

授与品 粽・手拭・茅の輪お守り
厄よけたわし

山鉾の紹介

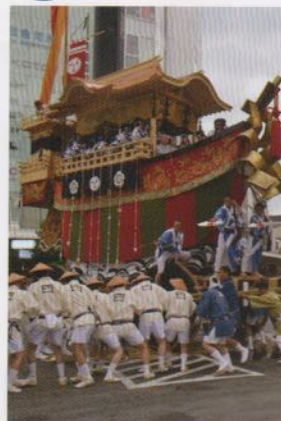
1基の鉾と9基の山

後祭 あとまつり

スケジュールは昨年のデータを参考に作成しており、各山鉾の都合や天候により変更される場合があります。また、山鉾の掲載順は巡行の順序ではありません。

24 おおふねほこ 大船鉾

くじ取らず



2014年に150年の時を経て復興。船鉾が神功皇后の出陣を模ったのに対し、大船鉾は戦に勝った凱旋の船を表す。後祭のしんがり(最後尾)

- 鉾建て／7月18日 8:00～
 - 曳き初め／7月20日 15:00～
 - 一般搭乗拝観／7月20日 18:00～
- ※搭乗するには拝観券(300円)の購入が必要
- ご利益／厄除け、安産

授与品 粽・腹帯・手拭・扇子・絵はがき

25 えんのぎょうじゃやま 役行者山

修験道の開祖である役行者を主役とする山。



- 山建て／7月20日 8:00～
- ご利益／疫病除け、腰痛・肩こり

授与品 粽・護摩木・ご守護木お札(腰痛／肩こり)・手拭

26 きたかんのんやま 北観音山

楊柳観音像と草駄天立像を祀る曳き山。別名上り観音山。



- 山建て／7月19日/6:00～
- 松えらび／7月19日/13:00頃
- 曳き初め／7月20日/15:00～
- 一般搭乗拝観／招待客のみ

27 くらぬしやま 黒主山

黒主が桜を見上げる場面を再現した山。



- 山建て／7月20日 9:00～
- ご利益／厄除け、泥棒除け

授与品 粽・手拭・うちわ・ミニ山黒おたべ・あぶらとり

28 こいやま 鯉山

勇壮に流れを遡る鯉のご神像が見事な立身出世の昇山。



- 山建て／7月19日 9:00～
- ご利益／厄除け、立身出世

授与品 粽・手拭・茅の輪・扇子立身出世のお守り

29 じょうみょうやま 浄妙山

平家物語にある宇治川合戦の故事を再現する山。



- 山建て／7月20日 9:00～
- ご利益／厄除け、勝ち運

授与品 粽(お守りつき)・勝ち飴勝お守り・懐紙・手拭

30 すずかやま 鈴鹿山

瀬織津姫(せおりつひめ)神をご神体とする山。



- 山建て／7月20日 8:00～
- ご利益／安産、盗難除け、雷除け

授与品 粽・手拭・Tシャツ

31 はしべんけいやま 橋弁慶山

五条大橋で対面する弁慶と牛若丸を再現した山。



- 山建て／7月21日 8:30～
- 曳き初め／7月21日 11:00～

授与品 粽・手拭・扇子・Tシャツ

32 はちまんやま 八幡山

八幡宮を山に据える。雌雄の鳩が夫婦和合を象徴する。



- 山建て／7月21日 8:30～
- ご利益／夜泣き封じ、夫婦円満

授与品 粽・鳩笛(夫婦和合)・鳩鈴(夜泣き封じ)・お守り

33 みなみかんのんやま 南観音山

別名下り観音山。宵山には「あばれ観音」が行われる。

- 山建て／7月19日/6:00～
- 松えらび／7月19日/13:00頃
- 曳き初め／7月20日/15:00～
- 一般搭乗拝観7月21日/10:00～



授与品 粽・手拭・扇子・うちわ

休み山(焼山)

度重なる大火で懸装品やご神体を焼失、または山鉾町の事情で、現在は巡行していない山。

鷹山(たかやま)

文政9年の暴風雨で破損。2026年の復興を目指し、祇園囃子の演奏を復活させ、粽などの授与も行っている。

布袋山(ぼていやま)

天明の大火により、一部を残して焼失。ご神体は布袋像と二童子。居祭りでは、粽・護符が販売される。

お役立ち情報案内

7/15、16の18:00～23:00頃は歩行者天国になる為、大変混雑します。迷子やスリなどに気を付けてください。

※落とし物・迷子及び急病やけがで困りの際は、近くの警察官または現場警備員までお知らせください。



迷子情報

雑踏警備管轄 下京警察署
【電話】075-352-0110(代)



救急案内

消防局・下京消防署
【電話】075-361-4411



トイレ情報

公園の公共トイレを掲載 ※表紙「山鉾位置・巡行ルートマップ」参照
※京都市営地下鉄各駅のトイレとエレベーターは、全駅身体障害者にも対応しています。

吉兆あゆ 1包(5本入) 1,200円(税込み)

大極殿本舗

占出山の故事に因んだ調布菓子吉兆あゆ。
鮎の形をした生地の中には、真っ白のもちもちとした求肥が入っている。カステラの老舗「大極殿本舗」らしく、生地の美味しさは絶品。



販売日程 7月14日～7月16日

販売場所 占出山
烏丸錦小路通西入

◇大極殿本舗本店

【住所】京都市中京区高倉通四条上ル
帯屋町590
【電話】(075) 221-3323
【営業時間】9:00～19:00
【定休日】無休

吉兆あゆは占出山でのみ購入可能だが、大極殿本舗では「若あゆ」として夏季限定で販売されている。



祇園まもり 1個 280円(税込み)

鍵善良房

鍵善良房の店頭で祇園祭の間だけ販売している商品。
やわらかい求肥を薄く焼いたカステラ生地で包んだお菓子。さつくり軽い皮とやわらかな求肥の取り合わせで軽やかな食感。後祭がとり行われる24日までの販売。



販売日程 7月初旬～7月24日

販売場所 鍵善良房

◇鍵善良房

【住所】京都市東山区祇園町北側264
【電話】(075) 561-1818
【営業時間】9:00～18:00
※喫茶は9:30～(L.O.17:45)
【定休日】月曜日(祝祭日の場合は翌日)

鍵善良房といえはくずきり。暑気払いにのど越しの良いくずきりもおすすめ。



祇園祭限定パッケージ

「然」かすてら 1個 1,620円(税込み)

然花抄院

丹波黒豆を食べ、京都で育った鶏の卵を使用。
黄身の味の濃い、然花抄院だけの紙焼きかすてら。
祇園祭限定の五色紐を使った華やかな装いのパッケージです。



パッケージは変更になる場合があります。

販売日程 7月1日～7月24日

販売場所 然花抄院 京都室町本店

◇然花抄院 京都室町本店

【住所】京都市中京区室町通二条下ル
蛸薬師町271-1
【電話】(075) 241-3300
【営業時間】10:00～19:00
【定休日】第2、4月曜日(月曜日が祝日の場合、翌日休業)

京町家を改装した店内には、中庭を眺めながらゆっくりと寛げるカフェが併設されている。



祇園祭だけ楽しめるお菓子

宵山団子 1箱 1,404円(税込み)

亀屋良長

京菓子の老舗、亀屋良長が作る祇園祭限定の宵山団子は、白味噌入りのこし餡を求肥で包み、八坂神社の紋が焼き印されている。鈴の形を模した箱の中に提灯に見立てたお団子が並ぶ様は、賑やかな宵山ならではの風景。



販売日程 7月14日～7月16日

販売場所 月鈴 四条通新町東入
四条傘鈴 四条通油小路東入

◇亀屋良長

【住所】京都市下京区油小路西入
柏屋町17-19
【電話】(075) 221-2005
【営業時間】9:00～18:00
【定休日】1/1、1/2

亀屋良長では、7月10日頃～17日頃まで宵山団子を販売。

